

市第25号議案 令和2年度横浜市一般会計補正予算（第2号）（関係部分）

■補正予算案の概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、景気の先行きが見通せない状況が続くなか、「ヨコハマSDGsデザインセンター金融支援制度」の登録・認証を目指し、持続可能な経営・成長を目指す市内事業者を支援するため、SDGsと「新しい生活様式」を両立させ、環境・経済・社会の統合的課題解決に資する先駆的な事業に対して、必要経費の助成を行います。

◆対象者：市内事業者

◆補助率：1/2（上限200万円）

◆対象事業：「ヨコハマSDGsデザインセンター金融支援制度」の登録・認証を目指す事業者の取組

- 例
- ①外出困難な高齢者等を対象に、AI・IoTによる個人の嗜好と健康に考慮した食料品等の移動販売サービスの実施
 - ②SDGsの先駆的な取組をバーチャル体験ができる小中学校等での体感型オンライン授業・家庭学習用教材の提供
 - ③プラスチック代替素材を活用したフェイスシールドの製造と再利用を可能にするエコサイクルの確立
 - ④帰宅困難者等を事業所内等で受け入れるための高効率で停電対応型の非常用電源設備の導入

◆スケジュール：

7～8月 申請受付

9月～ 審査・選定、補助金交付

◆補助金交付事業者に対するデザインセンターの支援：

- ①コーディネーター（専門相談員）による事業実施等に関する支援（相談・助言等）
- ②デザインセンターホームページへの掲載など様々な媒体を通じた取組内容等の発信

■一般会計歳出予算の補正

SDGs biz サポート事業（くらし・経済対策による補正）

補正額 110,000 千円 [一般財源 110,000 千円]

歳出

(単位：千円)

款項目	補正前の額	補正額	計	補正の財源			
				国費等	市債	その他	一般財源
8款 環境創造費	36,371,268	110,000	36,481,268	-	-	-	110,000
2項 総合企画費	1,202,232	110,000	1,312,232	-	-	-	110,000
4目 温暖化対策費	806,853	110,000	916,853	-	-	-	110,000

■ヨコハマSDGsデザインセンター【平成30年度自治体SDGsモデル事業】

「SDGs 未来都市・横浜」の実現を目指し、環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る横浜型「大都市モデル」の創出に向け、多様な主体との連携や自らも主体となって課題解決に取り組む中間支援組織として、平成31年1月から運営開始

【これまでの実績】 ※令和2年5月末時点

- (1) 相談件数 約300件
SDGsに関する各種相談窓口としてコーディネーターを配置（7人）
- (2) 講演・視察等 約90件
市内外の企業、団体、大学等からの講演・視察等の依頼に対応
- (3) 企業等との連携により自らも主体となった試行的取組 16事業（別紙参照）

■ヨコハマSDGsデザインセンター金融支援制度（令和2年度新規事業、現在検討中）

国（内閣府）が検討中の「地方創生SDGs金融」と連動し、「登録・認証制度」及び「評価制度」で構成された制度。デザインセンターが事業者・市民団体など多様な主体の取組を「登録・認証」、「評価」し、資金調達などの金融面での相談・支援を実施。

- (1) 登録・認証制度（8月実施予定）
国及び本市が独自に設定した認証基準に基づいて、SDGs達成に貢献する意思がある企業・団体等が登録・認証を取得する制度
- (2) 評価制度（検討中）
本市が独自に設定した評価基準に基づいて、企業・団体等が取り組む事業内容の外部評価を受ける制度

■企業等との連携により自らも主体となった試行的取組【16事業】

環境

ヨコハマ・ウッドストロー・プロジェクト

【(株)アキュラホーム】
道志村の間伐材を原料とし、障害者の方々
が製作する横浜産の木のストロー「SDGsスト
ロー・ヨコハマ」の普及拡大により、脱炭素化
や海洋プラスチックごみ対策など、多くの皆
さまにSDGsを実感・体感いただき具体的行動
に繋げる。



資源循環型エコサイクルの構築

【(株)三井住友銀行】

食品ロス等の廃棄物の有効活用と、当該取組
による地域コミュニティの活性化等によって
、環境・経済・社会的課題の統合的解決を図
る。

海と教室をライブ映像でつなぐ海洋教育プログラム
“海中教室”

【市立みなとみらい本町小学校】

市内小学校の教室と海をライブ映像でつなぐ
授業を通じ、子どもたちが身近な海の世界や
海洋プラスチックごみ問題等について学び・
考える場を提供する。

SDGsライフデザインプロジェクト
『SDGsハウス』

【イケア・ジャパン(株)、(株)アキュラホーム】

SDGs17ゴールに貢献する住まいや暮らし方
を、木造のモデルハウスを舞台に、環境配慮
型の家具や生活用品などを使って来場者に
SDGsを実感・体感してもらうことで行動実践
を促進していく。



脱炭素化の実現に向けた

ヨコハマ "SDGs & Zero Carbon" プロジェクト

様々なステークホルダーが持つニーズ・シー
ズを共有・マッチングさせることで、温室効
果ガス削減につながる製品・サービス・取組
の発掘、普及・展開、ビジネスチャンスにつ
ながる。



社会

環境絵日記子どもサミット

【横浜市資源リサイクル事業協同組合】

環境絵日記を通じて全国から集まった小学生
たちが、自分たちの描く未来を語り、大人と
の意見交流会等を通じて、子どもたちから未
来へ向けたメッセージを発信。

地域における快適な移動手段の
充実に向けたプロジェクト

【(一社)若葉台まちづくりセンター】

【モネ・テクノロジーズ(株)】

旭区若葉台地区にオンデマンドバスを導入し
、子育て世代・高齢者などが移動しやすい快
適なモビリティ環境の形成を図る。

地域における女性活躍社会の実現
ショートタイムテレワーク

【ソフトバンク】

磯子区汐見台地区及び青葉区たまプラーザ地
区でICTを活用した短時間勤務を職近接で
実現。新しい働き方「ショートタイムテレワ
ーク」を提案していく。

SDGs体感住宅地プロジェクト
東急田園都市線沿線地域

【東急(株)】

大都市近郊の郊外住宅地が抱えていく様々な
課題に対して、地域住民・行政・大学・民間
事業者の連携・協働によって解決していく、
従来にない住民参加型・課題解決型プロジェ
クトを実施。

SDGs体感住宅地プロジェクト
緑区十日市場周辺地域

市有地を活用した住宅地の開発機会を捉え、
まち全体でのSDGs達成に向けた取組やエリア
マネジメントを構築していく。すでに竣工し
た先行街区（20街区、21街区）を中心に住民
主体のエリアマネジメント活動を展開。

SDGs体感住宅地プロジェクト
磯子区洋光台団地周辺地域

【UR都市機構】

SDGsの視点を取り入れた大規模団地再生モデ
ルの実現に向けた、エリアマネジメント体制
構築のための拠点整備やコミュニティ活動を
実施。

SDGs体感住宅地プロジェクト
相鉄いずみ野線沿線地域

【相鉄ホールディングス(株)】

農資源等の地域資源を活用し、地域活性化を
図る取組を展開。ICT等を活用した新しい暮
らしの実現に向けた実証実験の実施などSDGs
に貢献する取組を推進。



経済

市内の再エネ産業の創出に向けた
バイオ燃料地産地消プロジェクト

【(株)ユーグレナ】

CO2を吸収して成長する微細藻類と市内飲食
店などの廃食油を原料としてバイオ燃料を製
造。嫌々な場面で利用拡大を図り、バイオ燃
料の地産地消を目指す。

金融機関と連携したSDGsの取組支援
イノベーションマッチングプロジェクト

【(株)三井住友銀行】

市内事業者のSDGsに資する取組みへの財政面
の支援に繋げるため、金融機関のSDGsの理解
促進を図るとともに、両者のマッチング機会
を設け、SDGsを活用したイノベーション創出
を目指す。



ヨコハマSDGsアイデア博

デザインセンター会員から募集したSDGs達成
に向けたアイデアやアクション（提案）を広
く発信し、イノベーション創出を目指す。



ヨコハマSDGs体感月間

市内のビジネス・アート・エンターテインメ
ントなどあらゆるジャンルの様々な
イベントを通じ、学びながら、楽しみながら
SDGsを体感できるキャンペーンを展開。

